

よみあそび

発行日 ● 平成27年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No 76



中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。
救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。
常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をとおして生きがいにみちた生活を支援します。
利用者と職員の希望をはぐむ職場づくりをすすめます。
和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:「緩和ケア」への取り組みの紹介



JA岐阜厚生連 中濃厚生病院

年頭のご挨拶



岐阜県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長 堀尾 茂之

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本会事業につきまして格別なるご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

平成27年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

我が国の医療を取り巻く環境は、昨年6月に施行された「医療・介護総合確保推進法」に基づき、今後の少子高齢化と人口減少など社会構造の変化に応じた、地域医療ビジョンの策定や地域包括ケアシステムの構築など、医療・介護の提供体制が大きく変革してまいります。国は、医療病床の機能分化・連携などによる医療の重点化と効率化を目指しており、人口減少の進展とともに地方医療は極めて厳しい経営環境が予測され、今後の医療動向を見据えた早急な対応を迫られております。

こうしたなか、本会は、公的医療機関として、また、地域の基幹病院として、予防医療から救急医療、急性期医療さらには慢性期医療、在宅医療、緩和ケアに至る総合的な医療・保健事業を担い地域医療の充実に取り組んでおります。

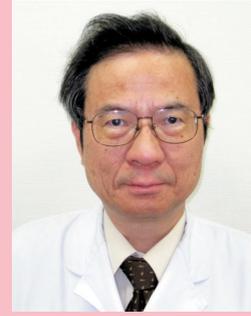
災害医療においても昨年9月に、中濃厚生病院に続き久美愛厚生病院が、医療救護活動の中心施設となる「災害拠点病院」と災害医療派遣チームを編成する岐阜DMATに指定されました。

医療設備の充実に、今年4月には、中濃厚生病院の増床整備工事が完了し、引き続き既設棟の改修整備を行い病床数が112床増床し495床となります。今回の増床事業に伴い救命救急センターの増床、化学治療室の拡充、専門性の高い呼吸器・消化器病センターの開設をはじめ、健康管理センター、保育所、災害時の備蓄倉庫の再整備を行います。また、他病院についても今後、耐震整備や高額医療機器等の施設設備の整備を積極的に行ってまいります。

医師不足等医療を取り巻く経営環境は、厳しいものがありますが、組合員並びに地域住民に信頼していただけますよう、地域医療機関との連携をさらに強化し、より充実した医療体制を目指して行く所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心より祈念申し上げますとともに、引き続き、本会事業にご理解ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



院長 林 勝 知

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は当院事業に格別のご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

去年は、診療報酬の改定やDPC係数の見直しなどがありました。その上に、消費税が8%に上がりまして、病院の運営がたいへん難しくなっております。

さらに、2025年に向けて、いかに医療費の削減を行うかが、国の重要な課題となっていると言われております。したがって、今後、益々、病院の運営が難しくなるものと推測されます。

そのような情勢の中で、当院は、500床近くの大規模病院にするための増床整備工事を行っております。この事業の目的は、主に、中濃地域の住民のみなさま方に、当院が、より良い地域医療の提供をできる病院に進化させることです。

今年もいろいろと難問があると思いますが、当院の職員一同、良い地域医療の提供を行っていくことを心がけておりますので、みなさま方のご理解とご協力、宜しく願い申し上げます。

本年もみなさま方のご指導、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



「緩和ケア」への取り組みの紹介

3階西病棟 がん性疼痛看護認定看護師

水野 賢一

新しい年を迎え、3月には増築棟の竣工式が予定されております。2000年の新築移転の際と同様に、緊張感を抱きながら更なる活躍の場が与えられることに感謝し、地域のみなさまのご期待に沿うようこれまで以上に頑張っていきたいと思っております。

さて、今回のテーマは「緩和ケア」です。中濃厚生病院では病院全体で「緩和ケア」への取り組みを始めております。昨年は、初めての試みとして「世界緩和ケアデー」に合わせ、病院の内外に向けた情報の発信をいたしました。現在の中濃厚生病院の「緩和ケア」への取り組みと併せてご紹介させていただきます。

いまでは「ホスピス」や「緩和ケア」という言葉は一般の方々にも知られるようになりました。ところで、みなさまは「緩和ケア」についてどのようなイメージをお持ちですか。いよいよという段階になって、がんの苦しみから解放されるために薬を使って苦痛を除去するというイメージをお持ちの方もみえるでしょう。「緩和ケアって何をやるの?」と思われる方も多いのではないのでしょうか。最近では、患者さまとご家族を中心に、医師や看護師の他に専門のスタッフが輪になって、チームになって関わっていくことが緩和ケアの一つのモデルと考えられています。がんと告げられた時点から患者さまとご家族に寄り添い、少しでも苦痛が和らぐことを目的とした緩和ケアの取り組みが行われています。

中濃厚生病院では昨年9月27日・28日の両日、当院及び地域の医療機関の医師を対象に「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」を当院主催で開催し、14名の医師が修了証を授与されました。また、10月2日を「中濃厚生病院「がんの痛みについて考える日」」として「緩和ケア」の催しを初めて開催しました。当日は、勝村直樹副院長による「中濃厚生病院で受ける緩和ケア」、仲田和彦消化器外科部長による「痛みと上手にお付き合い」というテーマの市民公開講座を開きました。



参加者のみなさんには大変ご好評をいただき「今後も是非続けて多くの方に先生の話をお聴きいただきたい」といったお言葉を頂戴しました。正面玄関ロビーでは薬剤師・医療相談員・看護師がそれぞれ相談ブースを設置して、当院における緩和ケアへの取り組みを来場者に説明し、がんに関する相談を受け付けました。



その場で「自分はがんではないから関係ないよ」「がんの話を知ったらがんになるかもしれないからいいわ」という言葉を耳にしました。病気になりたくてなる人はいないと思います。「がん」ならなおさらです。それでも、国民の2人に1人が「がん」にかかる時代になりました。「自分には関係ない」と自信を持っ

と言える数字でしょうか。

ある日突然「がん」と告げられたご本人の衝撃と苦痛は、言葉では表現できないものだと思います。自分の存在が脅かされるかもしれず、何も考えられない状況に置かれているのに、周囲の誰にも自分の気持ちを理解してもらえない。誰に相談したら良いのかさえわからない。そのような時に、「緩和ケア」が必要とされるのではないのでしょうか。中濃厚生大病院では、「緩和ケア」を必要とする患者さまとごご家族に対し、できる限り早い段階から「緩和ケア」が提供される体制を整える努力をしております。これからも、地域のみなさまにとって安全で、安心できる拠り所となり、心身ともに支えることができる中濃厚生大病院であり続けたいと思います。

中濃厚生大病院における「緩和ケア」への取り組みに対し、みなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



緩和ケアとは、
重い病を抱える患者やその家族一人一人の
身体や心などの様々なつらさをやわらげ、
より豊かな人生を送ることができるように
支えていくケアのことです。

様々な専門分野のスタッフが
「緩和ケアチーム」として、
あなたとご家族を支援します。



●看護師
緩和ケアに関する専門的な知識や技能を持つ専門・認定看護師などが支援します。



●医師
がんに伴う様々な症状をやわらげます。



●医療ソーシャルワーカー
生活面や医療費など経済面での問題についてご相談を受けたり、社会的サービスや在宅医療を受けるための支援を行います。



●薬剤師
痛みなどの症状をやわらげるための薬についての助言や指導を行います。



あなたとご家族を
支援する
「緩和ケアチーム」



●管理栄養士
食事の献立や味付けの工夫などの助言などを通じて、食生活に関わる問題に対応します。



●カウンセラー
(臨床心理士)
がんに伴う心の問題(不安、うつ状態など)について、専門的に支援します。



●リハビリ専門職
(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など)
身体の機能を最大限に活用し、安全に生活できるようにするためのリハビリテーションを担当します。

外来診療担当表

平成27年1月以降

番	診療科目	診	月	火	水	木	金	
⑬番受付	内科	(消化器) (神経) (内分泌)	1	戸田/中村(隔週)	尾 辻	本 田	戸 田	中 村
			2	松 浦	勝 村	島 田	森野(神経・初)	勝 村
			3	森 野	島 田(内分泌)	森 野	尾 辻	鈴木(英)(第1・第3)/ 島田(第2・第4)(第5隔週)初
			4	勝 村(消・初)	戸 田(消・初)	尾 辻(消・初)	中 村(初・消)	本田/松浦(初・消・隔週)
			5	鷹 津(循・初)	神谷/大須賀(呼・初・隔週)	安 田(呼・初)	森 下(循・初)	香 田(循・初)
			6	玉 木	田 中	木村(腎・初・再診)	鷹 津	神 谷
			7	半 田	佐 野(循・初)	柴 田	大須賀	坪 内(俊)
			8	森 下	安 田	森 下	立 岩	安 田
			9	岩 田(啓)	香 田	佐 野	香 田	佐 野
			10	木 村(腎・初)	-	-	-	玉 木(呼・初)
	午後	5	山 中(隔週)	浅 井	-	-	-	
	午後	6	-	半 田	鷹 津	-	-	
	午後		向井(2:00~4:00)	-	-	-	-	
	要 予 約	(喘息)	7	-	玉 木(喘息)	-	-	-
		(禁煙)	9	山中/立岩(隔週)(2:00~4:00)	-	-	-	-
		(神経)	3	-	森 野(1:30~)	-	-	-
		(心療)	9	-	-	-	-	-
(緩和ケア)		午後	-	-	-	勝村(2:00~4:00)	-	
(セカンドオピニオン)			-	-	-	勝 村	-	
(血液)			-	兼村(2:00~5:00)	-	-	鶴見(2:00~5:00)	
(糖尿病)		-	-	-	-	-		
(胸部・心臓血管外科)	7	島袋/岩田(尚)(2:00~4:30)	-	水野(呼外)(2:00~4:00)	-	-		
⑭番受付	小児科	午前	1	坪 内(肯)	坪 内(肯)	坪 内(肯)	森 本	坪 内(肯)
		2	山 田(信)	森 本	山 田(信)	山 田(信)	山 田(信)	
		(ワクチン)	2	山田(信)(2:00~)	坪内(肯)/森本(2:00~)	-	-	-
		(神経)	午後	2	-	-	山田(信)(2:00~)	-
	(内分泌)	1	-	坪内(肯)(2:30~)	-	坪内(肯)(2:00~)	坪内(肯)(2:00~)	
	(アレルギー)予約制	1	-	-	山 岸(2:00~)	-	-	
	(1ヶ月検診)予約制		-	-	-	1ヶ月検診(2:30~) (坪内/山田/森本)	-	
耳鼻科	午前	1	横 山	中 下	横 山	横 山	横 山	
	2	滝 脇	代務医師	滝 脇	中 下	中 下		
	3	中 下(10:30~)	-	-	滝 脇(10:30~)	滝 脇(10:30~)		
(学童・嚥下)	午後	1	嚥下外来(3:00~) 中下/滝脇	-	-	学童外来(3:00~4:30) 中下/滝脇	-	
⑮番受付	外科	午前	1	井 上(総)	吉 田	仲 田	井 上(総)	仲 田
		2	武 藤	勝 木	武 藤	砂 川	吉 田(滋)	
	特診		砂 川	-	-	-	勝 木	
	(乳腺)	午後	1	-	-	-	吉田(滋)(乳腺)(1:30~3:00)	-
	皮膚科	午前	1	山 田(孝)	山 田(孝)	山 田(孝)	山 田(孝)	山 田(孝)
脳神経外科	午前	1	-	高 井	高 井	代務医師	高 井	
	2	寺 島	井 上(繁)	寺 島	井 上(繁)	寺 島		
⑭番受付	整形外科	午前	1	小 川	波 頭(脊椎)	波 頭(脊椎)	小 川	安藤(リウマチ・人工関節)
		2	山 本	安藤(リウマチ・人工関節)	金 子	八 木	山 本	
		3	高 橋	八 木	高 橋	荒 木	金 子	
		(初診)	4	安藤(リウマチ・人工関節)	山 本	小 川	金 子	八 木
		(処置・初診)	5	荒 木	金 子	八 木	高 橋	荒 木
(ギプス外来)	午後		-	-	2:00~3:30	-		
⑩泌尿器科	午前	1	斉 藤	斉 藤	宇 野	斉 藤	宇 野	
	2	宇野(初診・10時~)	宇野(初診・10時~)	斉藤(初診・10時~)	宇野(初診・10時~)	斉藤(初診・10時~)		
⑫番受付	産婦人科	午前	1	太田(初・予約外)	山際(初・予約外)	藤本(~9:30予約のみ) 太田(9:30~初・予約外)	伊藤(初・予約外)	伊藤(初・予約外)
		3	友 影(再診)	伊 藤(再診)	代務医師(豊木/竹中)(再診)	山 際(再診)	太 田(再診)	
		午後	1	-	-	-	1ヶ月健診(2:00~)	-
		骨盤底再建外来(予約制)	1	-	-	-	-	(14:00~15:30)
⑪眼科	午前	1	-	代務医師	-	代務医師(10時~)	代務医師	
	2	-	-	-	-	-		
⑲リハビリテーション科	午前	1	金 子	森 野	安 藤	井 上(繁)	波 頭	
	午後		鈴木(幸)	香 田	坪 内(俊)	佐 野	山 中	

ボランティア募集

中濃厚生病院では現在は20名程のボランティアの方によって玄関案内、病棟手伝い、院内図書管理、各種院内教室(ちぎり絵・絵てがみ)と幅広く活動して頂いています。
地域に根ざしたよりよい病院づくりを目指し、週1回程度、活動して頂ける方を募集しています。
尚、活動時間についてはご相談に応じて調整できますので、気軽にお問い合わせください。
【問い合わせ先】中濃厚生病院 医療相談室 松田 TEL(0575)22-2211

休診日/土曜・日曜・祝日

JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
〒501-3802 関市若草通5丁目1番地
TEL(0575)22-2211
URL: <http://www.chuno.gfkosei.or.jp/>